学校番号	3025

令和８年度　国際文化科

教科	学国際文化科	科目	（学）中国語文化Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	標準高校中国語(白帝社)						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、生徒が主体となり、教師はアシスタントの授業形式を重視します。テキストに基づき、生徒たちが自らの生活に即した会話文を作り上げ、２、３人のグループで会話できるようにします。

さまざまな分野を扱った視聴覚教材、インターネットを利用し、生徒が興味関心を持って意欲的に学べるようにします。

定期テストだけでなく、発表や、ノート及び課題提出、復習の自己評価表提出等にも、意欲的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

基礎段階の言語使用者の語学力を養う。中国語の文化や、買い物、地元の地理、学校生活などの直接的関係がある領域に関して、学んでいる中国語で 簡単な質問ができ、理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

国際社会で自分の考えや意思を概ね表現できるコミュニケーション能力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

中国語の学習などを通して、外国語学習への興味を高めるとともに、豊かな国際感覚や確かな国際理解の基に、グローバルに問題を捉えて、表現しようとする態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて概ね活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを概ね理解したり、これらを活用して概ね表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1、2課	・文字・挨拶表現 ・感謝、お詫びの表現	a: 文字を覚え、文法事項や,新語の意味の理解をもとに、 挨拶表現を聞き取る。 b: 挨拶表現の会話の内容を理解し、やり取りをする。 c: 自己紹介文を作り発表する。	定期考査（リスニング）	定期考査	プレゼンテーション
	3、4課	・名前の聞き方・答え方 ・質問の仕方	a: 本課で学習する文法事項や,新語の意味の理解をもとに､会話文を聞き取る。 b: 日常生活の会話の内容を理解し、やり取りをする。 c: 日常生活の会話の内容を理解し、やり取りをしようとする。	定期考査（リスニング）	定期考査	課題提出、暗唱テスト
2学期	5、6、7課	・趣味についての表現 ・所有､所属についての表現	a: 本課で学習する文法事項や,新語の意味の理解をもとに､会話文を聞き取る。 b: 趣味や仕事のことに関する会話について理解し､やり取りをする。 c: 趣味や仕事のことに関する会話を作り、発表する。	定期考査（リスニング）	定期考査	プレゼンテーション
	8，9、10.課	・買い物についての表現 ・食事についての表現	a: 本課で学習する文法事項や,新語の意味の理解をもとに､会話文を聞き取る。 b: 買い物や食事での会話の内容を理解し、やり取りをする。 c: 買い物や食事での会話の内容を理解し､やり取りをしようとする。	定期考査（リスニング）	定期考査	課題提出、暗唱テスト
3学期	11.，12.課	・日常生活での会話 ・中国の文化について	a: 本課で学習する文法事項や,新語の意味の理解をもとに､会話文を聞き取る。 b: 日常生活での会話で場所や曜日の内容を理解し､やり取りをする。 c: 中国文化について、自分の好きなものの紹介文を作り､発表する。	小テスト（リスニング含む）	レポート	プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度